



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月13日

上場会社名 株式会社エクストリーム 上場取引所 東
 コード番号 6033 URL <http://www.e-extreme.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 佐藤 昌平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 由佐 秀一郎 TEL 03-6673-8535
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	5,343	19.8	1,111	113.1	1,011	132.7	747	191.0
2019年3月期第3四半期	4,459	82.3	521	129.3	434	90.8	256	86.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 755百万円 (185.9%) 2019年3月期第3四半期 264百万円 (79.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	137.35	135.73
2019年3月期第3四半期	48.09	47.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	4,298	2,898	61.4
2019年3月期	3,677	2,254	54.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 2,639百万円 2019年3月期 1,993百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	21.00	21.00
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期 (予想)				34.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日 (2020年2月13日) 公表いたしました「通期業績予想 (連結) および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,097	12.9	1,363	44.2	1,277	50.1	927	65.6	170.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日 (2020年2月13日) 公表いたしました「通期業績予想 (連結) および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 2社 （社名）株式会社エクスラボ、ALTPPLUS VIETNAM Co., Ltd.、除外 1社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご参照下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	5,441,576株	2019年3月期	5,430,376株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	615株	2019年3月期	566株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	5,440,293株	2019年3月期3Q	5,338,409株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨ではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、全体として概ね緩やかな回復基調で推移したものの、米国の保護主義的な通商政策や、中東及び東アジアをはじめとする地域における地政学リスクの高まり等により、先行きは不透明な状況にあります。

このような状況下、当社グループはゲーム・スマートフォンアプリ・WEB・IT企業などの顧客先に当社社員が常駐し、技術ソリューションを提供する「ソリューション事業」、ゲーム・各種システム開発などを請け負う「受託開発事業」、当社が保有するゲームタイトル等の使用許諾を行う「コンテンツプロパティ事業」を積極的に展開し、取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,343,573千円（前年同四半期比19.8%増）、営業利益は1,111,588千円（前年同四半期比113.1%増）、経常利益は1,011,976千円（前年同四半期比132.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は747,248千円（前年同四半期比191.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<ソリューション事業>

ソリューション事業は、ゲーム・スマートフォンアプリ・WEB・IT企業などに対し、プログラミング・グラフィック開発スキルを持った当社社員（クリエイター&エンジニア）が顧客企業に常駐し、開発業務を提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、スマートフォンを中心とした開発案件における旺盛な需要に支えられ、受注が安定的に推移し、人材ソリューションサービスにおける稼働プロジェクト数は4,324となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,604,089千円（前年同四半期比12.4%増）、セグメント利益は605,353千円（前年同四半期比18.2%増）となりました。

<受託開発事業>

受託開発事業は、主にソリューション事業を通じて顧客から持ち込まれるスマートフォンアプリ開発案件、クラウドプラットフォーム構築、CRM（Customer Relationship Management）構築～導入～運用など、案件を持ち帰り形式にて受託し、納品するサービスを提供しております。案件種別としては、新規と既存（保守開発）に大別されます。また、子会社である株式会社E P A R Kテクノロジーズ及び株式会社エクストラボにおける事業についても受託開発事業に含まれます。

当第3四半期連結累計期間においては、大型案件に係る納品はありませんでしたが、既存（保守開発）が安定的に推移したこと、子会社である株式会社E P A R Kテクノロジーズの収益が、業績に一定の貢献をいたしました。一方、子会社である株式会社エクストラボ及びALTPPLUS VIETNAM Co., Ltd.において損失を計上いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,719,994千円（前年同四半期比3.9%減）、セグメント損失は16,880千円（前年同四半期はセグメント利益46,144千円）となりました。

<コンテンツプロパティ事業>

コンテンツプロパティ事業は、当社が保有するゲーム・キャラクター等の知的財産を活用し、様々な事業展開を行うセグメントであり、具体的には、ゲーム運営のほかに、当社が保有するゲームタイトルまたはキャラクターなどを様々な商材へ使用許諾を行うライセンス事業が含まれております。

当第3四半期連結累計期間においては、2018年8月から中国にて配信開始されたスマートフォン版ゲームアプリ『ラングリッサー』におけるロイヤルティ収益が引き続き堅調に発生いたしました。配信地域は、東アジア（日本・中国・韓国・香港・台湾・マカオ）、東南アジア（タイ・シンガポール・インドネシア・マレーシア）、オセアニア（オーストラリア・ニュージーランド）、欧米諸国（アメリカ・カナダ・EU加盟国）、トルコ、ロシアなどグローバルな配信網に成長しております。

なお、スマートフォン版ゲームアプリ『ラングリッサー』に係るロイヤルティ収益の計上につきましては、各許諾地域における売上集計作業およびライセンス許諾先である天津紫龍奇点互動娛樂有限公司（中国・北京市）からの収益報告に一定の時間を要すること、契約上収益に係る報告サイクルが定められていることから当第3四半期連結累計期間における当該プロジェクトに係る収益は、2019年2月～10月の9ヶ月分となっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,042,999千円（前年同四半期比179.1%増）、セグメント利益は1,003,497千円（前年同四半期比171.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産・負債・純資産の状況

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、4,298,500千円となり、前連結会計年度比620,648千円の増加(前連結会計年度比16.9%増)となりました。これは主に、関係会社株式が106,218千円減少した一方、現金及び預金が378,848千円、投資有価証券が211,169千円それぞれ増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、1,400,372千円となり、前連結会計年度比23,227千円の減少(前連結会計年度比1.6%減)となりました。これは主に、未払法人税等が229,776千円減少した一方、短期借入金が300,196千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、2,898,127千円となり、前連結会計年度比643,876千円の増加(前連結会計年度比28.6%増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、利益剰余金が634,692千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を鑑み、上方修正しております。詳細につきましては、2020年2月13日に公表いたしました「通期業績予想(連結)および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,257,298	1,636,147
受取手形及び売掛金	1,370,632	1,294,944
有価証券	356	7,608
仕掛品	3,508	45,827
その他	50,189	92,451
貸倒引当金	△7,004	△6,466
流動資産合計	2,674,981	3,070,513
固定資産		
有形固定資産	44,814	82,838
無形固定資産		
ソフトウェア	15,240	64,023
ソフトウェア仮勘定	47,871	13,698
のれん	101,024	156,836
無形固定資産合計	164,136	234,558
投資その他の資産		
投資有価証券	429,799	640,969
関係会社株式	106,218	—
その他	265,269	276,988
貸倒引当金	△7,367	△7,367
投資その他の資産合計	793,920	910,589
固定資産合計	1,002,870	1,227,987
資産合計	3,677,851	4,298,500

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	300,196
1年内償還予定の社債	43,000	63,672
1年内返済予定の長期借入金	54,560	52,560
未払金	537,452	510,582
未払法人税等	264,553	34,776
賞与引当金	94,132	56,456
その他	193,002	223,149
流動負債合計	1,186,700	1,241,392
固定負債		
社債	58,500	18,000
長期借入金	178,400	140,980
固定負債合計	236,900	158,980
負債合計	1,423,600	1,400,372
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,051	414,891
資本剰余金	412,758	413,598
利益剰余金	1,169,952	1,804,644
自己株式	△735	△832
株主資本合計	1,996,027	2,632,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,345	8,179
為替換算調整勘定	—	△934
その他の包括利益累計額合計	△2,345	7,244
非支配株主持分	260,569	258,580
純資産合計	2,254,251	2,898,127
負債純資産合計	3,677,851	4,298,500

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	4,459,163	5,343,573
売上原価	3,215,604	3,330,223
売上総利益	1,243,558	2,013,349
販売費及び一般管理費	721,939	901,761
営業利益	521,619	1,111,588
営業外収益		
受取利息	3,606	15,903
投資有価証券評価益	2,668	705
助成金収入	1,510	6,511
その他	430	82
営業外収益合計	8,216	23,202
営業外費用		
支払利息	1,169	2,139
為替差損	1,537	14,665
持分法による投資損失	83,711	100,533
その他	8,559	5,475
営業外費用合計	94,977	122,814
経常利益	434,857	1,011,976
特別損失		
持分変動損失	—	5,684
特別損失合計	—	5,684
税金等調整前四半期純利益	434,857	1,006,292
法人税等	170,069	260,648
四半期純利益	264,788	745,643
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	8,041	△1,604
親会社株主に帰属する四半期純利益	256,746	747,248

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	264,788	745,643
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△634	10,524
為替換算調整勘定	—	△934
その他の包括利益合計	△634	9,589
四半期包括利益	264,153	755,233
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	256,112	756,837
非支配株主に係る四半期包括利益	8,041	△1,604

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算方法)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソリューション事業	受託開発 事業	コンテンツ プロパティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,296,558	1,788,932	373,671	4,459,163	—	4,459,163
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,737	—	—	19,737	△19,737	—
計	2,316,296	1,788,932	373,671	4,478,900	△19,737	4,459,163
セグメント利益	512,220	46,144	369,539	927,903	△406,284	521,619

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソリューション事業	受託開発 事業	コンテンツ プロパティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,580,579	1,719,994	1,042,999	5,343,573	—	5,343,573
セグメント間の内部 売上高又は振替高	23,509	—	—	23,509	△23,509	—
計	2,604,089	1,719,994	1,042,999	5,367,083	△23,509	5,343,573
セグメント利益又は損失 (△)	605,353	△16,880	1,003,497	1,591,970	△480,382	1,111,588

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。